

令和 3 年度第 2 回理事会開催

－ 賦課金等の 10% 減額請求措置、4 年度も継続 －

当協会令和 3 年度第 2 回理事会が去る 10 月 28 日、KKR ホテル東京において開催された。田邊会長があいさつを行った後、議長に就任して審議が行われた結果、上程された各議案はすべて原案通り承認された。

第 1 号議案『令和 3 年度上半期業務報告、収支計算報告』では、(1) 東京港における 3 年度上半期の輸入貨物の取扱数量は 958 千トン（検査・重量ベース）、前年度比 3.1%の減少であった。本船貨物では、果実の主力であるバナナが前年同期比 3.8%の増、パイナップルは 1.1%の増、キウイフルーツは 42.0%と大幅増。かんきつ類は GF 12.4%の減、オレンジ 155.5%と大幅増、レモンも 150.7%の大幅増だった。本船小麦は 25.9%の大幅減となった。一方、コンテナ貨物は 741 本減少し、361 百本だった。こく類ではモルトが 676 本の大幅減となり、全体では 683 本減少した。まめ類ではダイズが 229 本増加し、全体で 230 本増加した。乾牧草はチモシーヘイが 127 本増加したが、アルファルファヘイ 233 本減、フェスクヘイ 77 本減、スーダンヘイ 55 本減となり、全体で 145 本減少した。嗜好香辛・葉染料はアーモンド 216 本増、クルミ 89 本増、タバコ 55 本増となり、全体で 384 本増加した。野菜類は 623 本減少の 6,235 本であった。昨年大幅に減少した主力のタマネギが 182 本増加したが、キャベツが 281 本減、ナガネギ 172 本減、メロン 71 本減、ニンジン 69 本減と多くの品目が減少した。果実は全体で 3,955 本で 75 本の増加となった。かんきつ類は GF 47 本増、オレンジ 58 本増、レモン 130 本増だった。その他ではパイナップルが 603 本の大幅増となったが、キウイフルーツは本船積み大幅増となったためコンテナは 380 本の大幅減、ブドウ 216 本減、アボカド 198 本減、バナナ 128 本減だった。(2) 輸出用木材こん包材消毒証明件数は 1,191 件で、前年から 163 件増加した。(3) 25 年 6 月から賦課金、立会料の減額率を 20%にした減額請求措置を、本年 5 月の総会での承認により減額率を 10%に変更し 6 月 1 日検査分から適用した。本年度の上半期の賦課金等収入は 7,821 万円（減額の金額 1,206 万円）と前年同期比 5.9%増で、通年予算の 54.8%となった。(4) 広報活動では、「東京植検だより」の発行や植物防疫所、全植検協の機関誌などを配布したほか、新しい検疫情報、現場情報をホームページにより広く関係者に提供した。また、各地からの数多くの質問、相談などにも適切に対応したほか、必要に応じて関係者との打ち合わせ

等を行い、円滑、的確、かつ安全な検疫業務の推進に努めた。(5) 関係当局及び諸団体との連絡・協力を図り、特に全植検協については、田邊会長が理事・副会長として、また事務局においても各種委員として、同協会の運営に協力した。また農水省植物防疫課も参加する「植物検疫関係団体連絡会」において検疫現場の状況報告、問題点提起とともに、検疫情報を直接入手した。さらに、近在協会とも定期的に連絡会を開き、意見・情報交換などに努めた。

一など本年度の主要事項と収支状況について報告が行われ、本案は異議無く承認された。

第 2 号議案「賦課金等の減額請求措置の令和 4 年度の取扱いについて」(1) 平成 15 年 6 月から賦課金・立会料（輸出こん包材の消毒証明料を除く。）の一律「20%」減額請求を 6 年間行った。しかし、年度繰越額が適切な水準に近づいてきたため、21 年度から減額率を「10%」に変更し、25 年度から減額率を「20%」に変更した。再び年度繰越額が適切な水準に近付き、また、今後の輸入量の減少が想定されることから令和 3 年 6 月から減額率を「10%」に変更した。本措置の次年度における取扱いについては、毎年、年度前半の業務量及び収支状況などを勘案して、秋の定例理事会において協議することとされている。(2) 上半期の取扱業務量は前年同期比 3.1%減で、上半期の賦課金等収入は、主力のコンテナ貨物、本船貨物の輸入の減少率が想定したほどではなく、且つ 6 月から減額率を 10%に変更したことにより、通年予算に対して 54.8%の達成率となっている。これは東京五輪が無観客で開催され、その物流への影響がさほどではなく、貨物の東京港離れが、上期はそれほどではなかったと考えられる。ただフレートの高騰等による北米乾燥牧草や中国野菜の減少、並びに一部貨物の他港へのシフトは下期もその傾向は続くと思われ、上期以上の減少は想定せざるを得ず、昨年度より 2,000 本ほど減少するものと思われる。(3) 一方、支出は今後の経費節減に努めた場合、最終的な赤字額は当初想定した 2.7 億円から 1.7 億円ほど減少した 1.0 億円ほどになると思われる。その場合、令和 3 年度末の令和 4 年度への繰越額は 1.4 億円程度と見込まれる。(4) この繰越額から見ると、令和 4 年度も賦課金等の 10%減額措置を継続することとしたい。(5) ただし、輸入量が以前の水準に戻り、繰越額が安定的な協会運営が可能な水準になった場合、再度

20%に戻すこととしたい。

一本案について全員異議なく承認された。

その他として事務局より令和4年の賀詞交歓会については新型コロナウイルスの感染防止の観点から、中止とする旨報告がなされた。

また、11月1日以降、入会等を申し込む場合には「反社会的勢力排除に関する誓約書」の提出を求めること、同誓約書の書式をHPに掲載することが報告された。

オマーンから輸入されたザクロ生果実から

ミカンコミバエ種群が発見された事例に

伴う輸入検疫措置の実施について

今般、オマーンから我が国に輸入されたザクロ生果実から、特にリスクの高い検疫有害動物として寄主植物の輸入を禁止しているミカンコミバエ種群 (*Bactrocera dorsalis* species complex) が発見された。このため、農林水産省ではオマーンに対して、植物防疫法施行規則(以下、「規則」)別表2の2項で規定されているミカンコミバエ種群の寄主植物に対する検査証明書の発給停止を要請するとともに、輸入検査においては、下記により対応をおこなうこととなった。

対象植物：オマーンから輸入されるミカンコミバエ種群の寄主植物(規則別表2の2項で規定されている植物：かんきつ類、いちじく、きゅうり、ざくろ、トマト、なし、メロン、りんご、とうがらし属植物、なす属植物、成熟したバナナの生果実など)

輸入検査での措置：令和3年10月26日以降に発給された検査証明書を添付し輸入された対象植物について、廃棄を命ずる。詳細については、植物防疫所ホームページをご確認下さい。

ニュージーランドでの *Pepino mosaic virus*

発生に伴う対応について

今般、ニュージーランドにおいてトマト等に病害を引き起こす *Pepino mosaic virus* (PepMV) の発生が新たに確認されました。PepMVは植物防疫法施行規則(以下「規則」)別表2の2の25項において、その宿主植物を日本に輸入する際輸出国において精密検定を実施するよう求められています。

このため、同国産の該当する植物を輸入する際には暫定的に以下の対応がとられます。

また、規則の次期改正時に同国を PepMV の発生地域として追加する予定、とのことです。

会 員 ・ 役 員 の 異 動 (令和3年10月1日～令和3年11月30日)

☆入会会員

11月4日(株) ブ ラ ク ス ト ン [商社] 〒231-0011 横浜市中区太田町6-84-2 ☎ 045 (640) 0626

☆社名変更

10月1日 ケ ー ズ エ ン タ ー プ ラ イ ズ (株) ← ケ ー ズ エ ン タ ー プ ラ イ ズ (有)

☆退会会員

11月30日 関 門 貿 易 (株)

○検査証明書の確認

対象植物：貨物、郵便物、携帯品として輸入される、ニュージーランド産の規則別表2の2の25項に掲げる植物

(栽培の用に供するトマト種子及び苗、栽培の用に供し得るあらげしゆんぎく、おおぼこ属植物の生植物など)

確認内容：令和3年10月18日以降に同国が発給した検査証明書が添付された対象植物について、規則別表2の2の25項の規定に基づく検査が行われ、かつ、PepMVに侵されていないことが追記されていること。

(追記例)

Fulfills item 25 of the Annexed Table 2-2 of the Ordinance for Enforcement of the Plant Protection Act (MAF Ordinance No73/1950)

上記について確認の結果、当該追記が適切に行われていることを確認できない場合は、廃棄(返送を含む。)となります。詳細については、植物防疫所ホームページをご確認下さい。

ホウライショウ苗のバナナネモグリセンチュウ

に係る輸入検査対応について

検疫有害動物であるバナナネモグリセンチュウの寄主植物の輸入に際しては植物防疫法施行規則別表1の2の7項に基づき、輸出国において栽培地で検査を行い、本線虫に侵されていないことを確認し、その旨を検査証明書に追記することが求められている。

今般、輸入検査において寄主植物として規制対象とされていないホウライショウ苗から本線虫が発見された。このため緊急の暫定措置として以下の対応が講じられることとなった。

○対象植物：貨物、郵便物、携帯品として輸入されるホウライショウ (*Monstera deliciosa* : 検査証明書にホウライショウ属と記載されたものを含む) 生植物の地下部

○検査を行う期間：令和3年11月15日から当面の間

○検定：輸入植物検疫規程別表第1で規定される検査数量について、地下部の綿密な確認を行うとともに、検査数量の10%以上について、地下部及び培養資材を対象にベルマン法を実施する。詳細については、植物防疫所ホームページをご確認下さい。

令和4年賀詞交歓会中止のお知らせ

毎年1月に開催しておりました新春恒例の当協会賀詞交歓会につきましては、新型コロナウイルス感染症の現状を踏まえ、中止とさせていただきます。

植物検疫くん蒸安全旬間を実施

11月1日から11月10日まで植物検疫くん蒸安全旬間が実施された。本旬間は当協会と消毒実務を担う防除業者、植物防疫所指定消毒施設所有者と植物検疫くん蒸の安全対策を確認し、日々行われる植物検疫くん蒸の安全な実施を目指して自主点検と安全への啓発期間として行われている。

東京港では令和3年現在、植物防疫所指定くん蒸倉庫が10施設あり、植物検疫で不合格になった植物のくん蒸が行われている。本年も全ての施設で安全旬間の趣旨を理解していただき、実施することができた。

安全旬間実施に先立ち、各消毒施設に植物検疫くん蒸安全旬間の啓発ポスターの配布をして期間中の掲示を依頼。当協会では植物検疫対象貨物のコンテナ内に積み地でくん蒸ガスを封入して輸入される植物に対し、ガス検知を行っている（積み地くん蒸を行った場合は、ガスの種類を書面でお申し出下さい。協会で検知可能なものはリン化水素、臭化メチル及び亜硫酸ガスです。それ以外については防除業者にガス検知を依頼して下さい。）ことから、ガス検知器具、防毒マスクの点検・交換・補充を行った。

安全旬間期間中に職員と防除業者で消毒施設を訪問し、安全対策の確認ミーティングを行った。その際は当協会からはワクチン接種完了した職員を派遣し、マスク着用といったコロナ対策をしたうえでミーティングを実施した。（写真）



ミーティングでは施設内での消毒日時の周知方法の確認やガスマスクなどの安全備品の管理方法の確認を行った。また、消毒施設訪問に際しては横浜植物防疫所東京支所の防疫官にも同伴していただき、くん蒸を安全に実施するための助言を戴いた。また併せて本年度が植物防疫所指定倉庫の更新年に該当するので、施設に対して更新手続きの説明も行われた。

安全旬間期間終了後、当協会にて防除業者との安全旬間の総括ミーティングを行い、今後とも安全旬間を有効活用し、より一層、植物検疫くん蒸の安全な実施を目指すことを確認し、本旬間を終了した。

（業務グループ 大西 洋）

タイム eye

業務グループ ベトナム産生果実輸入量増加

近年、ベトナムから生果実の輸入量が増加している。東京港では、ベトナムからの果実（冷凍を含む）の輸入量が2019年3,537トから2020年5,802トと前年対比164.0%と増加し、さらに今年1月から10月時点の統計では8,096トとすでに前年の輸入量を上まわっている。生果実の輸入量については、ドリアンを除いた5品目に関しては、すべての輸入量が前年を超えており、今年も増加傾向が続く見通しになっている。

要因としては、ベトナムの生産基盤が以前に比べて安定してきたことが挙げられる。また、大手量販店が条件付き解禁された果実をいち早く輸入し、年々輸入を拡大させるなど、ベトナムとの協力関係が着実に構築されていることもその要因の一つであろう。

東京港ベトナム産生果実類輸入推移(単位：ト)

品目	2019年 1～12月	2020年 1～12月	2021年 1～10月
バナナ	1,564	3,047	4,303
ヒロセレウス属	933	1,350	1,490
ココヤシ	296	746	1,367
ドリアン	0	23	7
レイシ	0	15	30
マンゴウ	0	12	99
合計	2,794	5,193	7,296

現在、東京港には東南アジアから、フィリピン、ベトナム、インドネシア、タイを中心とした国々から生果実が輸入されている。輸入される品目として代表的なのはフィリピン産バナナとパイナップルだが、他にも様々な生果実が輸入されている。ベトナムから輸入されている生果実は6種類にも上り、バナナをはじめとして、ココヤシ、ドラゴンフルーツ（ヒロセレウス属）、2017年に条件付解禁されたマンゴウ、2019年に同じく解禁されたレイシ（ライチ）などが挙げられる。また、ベトナムから日本へは生果実以外にも、野菜が多く輸入されており、ニンジンやネギなど一般的な野菜の他、レモングラスやガランガル、サトウキビなど、あまり見かけない野菜も多く、その青果物市場は拡大を続けている。

ベトナムは中国や米国にも生果実の輸出を行っており、その輸出額は2003年の1億5150万ドル、2013年の10億700万ドル、2017年の35億2000万ドルと、年々増加している。今後、さらに生産が安定し、品質の高い品物を提供できれば、更なる輸入増加も期待できるだろう。

コロナ禍において、気軽に旅行へ行けなくなってしまった今、こうした輸入品で現地の気分を味わってみてはいかがでしょうか。

（業務グループ 新藤 尋人）

東京港輸入植物品目別統計表

(1月-10月累計)

品 目	単 位	コンテナ 詰			在 来 船 積		合 計	
		本 数	検 査 数 量	不 合 格 数 量	検 査 数 量	不 合 格 数 量	検 査 数 量	不 合 格 数 量
栽植用植物	個	60	1,779,987	141,728	0	0	1,779,987	141,728
栽植用球根類	個	89	16,590,073	0	0	0	16,590,073	0
アマリリス	個	7	63,948	0	0	0	63,948	0
チューリップ	個	0	0	0	0	0	0	0
ユリ	個	80	15,340,525	0	0	0	15,340,525	0
栽植用種子	kg	239	1,977,085	32,138	0	0	1,977,085	32,138
草花・樹木	個	2	1,366	0	0	0	1,366	0
野菜	個	140	580,723	26,911	0	0	580,723	26,911
普通・特用作物	個	40	561,534	0	0	0	561,534	0
牧草・芝草	個	39	734,348	5,000	0	0	734,348	5,000
切花、切葉、切枝	個	1,701	246,854,023	5,983,615	0	0	246,854,023	5,983,615
アンスリウム	個	0	0	0	0	0	0	0
オンシジューム	個	161	5,339,825	0	0	0	5,339,825	0
キク	個	855	81,869,664	0	0	0	81,869,664	0
シダ(レザーフアン)	個	80	13,754,820	237,900	0	0	13,754,820	237,900
果 実	kg	5,993	96,387,715	5,350,959	270,977,978	182,750,844	367,365,693	188,101,803
オレンジ	kg	679	12,004,979	0	1,836,762	0	13,841,741	0
グレープフルーツ	kg	449	9,049,820	62,358	6,923,928	0	15,973,748	62,358
タンジェロ(ミネオラ)	kg	133	3,454,871	0	0	0	3,454,871	0
レモン	kg	340	4,831,366	102,816	1,398,660	0	6,230,026	102,816
パイナップル	kg	909	14,587,354	1,816,689	23,803,074	19,390,355	38,390,428	21,207,044
バナナ	kg	968	15,104,095	3,305,812	204,447,312	163,357,689	219,551,407	166,663,501
マンゴウ	kg	108	563,582	0	0	0	563,582	0
キーウイフルーツ	kg	168	2,806,533	14,519	32,527,840	0	35,334,373	14,519
ブドウ	kg	321	4,377,252	0	0	0	4,377,252	0
野 菜	kg	10,541	209,542,680	499,832	547	0	209,543,227	499,832
カボチャ	kg	414	10,012,084	307,770	0	0	10,012,084	307,770
サヤエンドウ(キヌサヤ)	kg	11	147,284	0	0	0	147,284	0
パプリカ	kg	74	761,007	0	0	0	761,007	0
メロン(ハミウリ含む)	kg	62	994,499	0	0	0	994,499	0
キャベツ	kg	155	3,856,381	3,510	0	0	3,856,381	3,510
セロリ	kg	45	761,565	40,177	0	0	761,565	40,177
ナガネギ	kg	1,156	17,614,450	0	0	0	17,614,450	0
ニンニクの芽	kg	41	1,054,470	0	0	0	1,054,470	0
ハクサイ	kg	28	411,975	3,900	0	0	411,975	3,900
ブロッコリー	kg	188	1,776,166	37,449	0	0	1,776,166	37,449
レタス	kg	261	3,031,182	44,412	0	0	3,031,182	44,412
タマネギ	kg	3,538	84,176,489	0	0	0	84,176,489	0
ニンニク	kg	591	10,560,460	23,871	0	0	10,560,460	23,871
アスパラガス	kg	14	103,112	6,720	0	0	103,112	6,720
ゴボウ	kg	265	7,395,920	0	0	0	7,395,920	0
サトイモ	kg	54	1,121,370	26,000	0	0	1,121,370	26,000
ショウガ	kg	356	8,163,490	0	0	0	8,163,490	0
ニンジン	kg	1,067	27,196,890	0	0	0	27,196,890	0
こく類	kg	5,316	107,910,264	187,100	125,808,891	2,273,000	233,719,155	2,460,100
オオムギ	kg	100	2,336,377	0	0	0	2,336,377	0
エンバク	kg	343	7,622,880	0	0	0	7,622,880	0
コムギ	kg	185	3,557,758	5,000	125,808,891	2,273,000	129,366,649	2,278,000
コメ	kg	1,289	24,460,502	0	0	0	24,460,502	0
ソバ	kg	142	2,765,996	0	0	0	2,765,996	0
トウモロコシ	kg	271	4,881,288	179,600	0	0	4,881,288	179,600
モルト	kg	2,922	61,221,941	0	0	0	61,221,941	0
まめ類	kg	5,884	117,620,514	538,986	0	0	117,620,514	538,986
エンドウ	kg	25	496,155	0	0	0	496,155	0
ダイズ	kg	5,483	109,751,944	538,986	0	0	109,751,944	538,986
ラッカセイ	kg	210	4,374,704	0	0	0	4,374,704	0
嗜好香辛、薬染料、その他食品	kg	3,438	52,814,951	727	0	0	52,814,951	727
カカオ	kg	11	87,597	0	0	0	87,597	0
コーヒー	kg	53	480,165	0	0	0	480,165	0
タバコ	kg	489	8,996,585	0	0	0	8,996,585	0
アーモンド	kg	1,098	18,118,109	0	0	0	18,118,109	0
クリ	kg	19	326,578	0	0	0	326,578	0
クルミ	kg	526	9,220,186	7	0	0	9,220,186	7
ポップコーン	kg	281	5,650,308	0	0	0	5,650,308	0
油料、肥飼料、その他雑品	kg	25,218	569,548,103	131,330	8,671	0	569,556,774	131,330
乾燥牧草(ヘイ)	kg	18,459	430,899,905	130,317	0	0	430,899,905	130,317
アニマルフィード	kg	28	290,052	0	0	0	290,052	0
アルファルファヘキューブ・ペレット	kg	1,378	34,961,226	0	0	0	34,961,226	0
コーンコブミール	kg	18	380,029	0	0	0	380,029	0
飼料用大豆カス、ペレット	kg	398	9,083,271	0	0	0	9,083,271	0
ビートバルブペレット	kg	383	9,064,661	0	0	0	9,064,661	0
イネワラ	kg	185	2,908,021	0	0	0	2,908,021	0
ココピート	kg	715	13,660,417	0	0	0	13,660,417	0
ココヤシ園芸資材	kg	312	6,600,291	0	0	0	6,600,291	0
ビートモス	kg	1,316	28,423,417	0	0	0	28,423,417	0
ミズゴケ	kg	35	68,393	0	0	0	68,393	0
タケ	kg	62	907,784	0	0	0	907,784	0
木材	m³	0	300	0	0	0	300	0
** 総 合 計 **	kg	56,629	1,155,801,312	6,741,072	396,796,087	185,023,844	1,552,597,399	191,764,916
	個	1,850	265,224,083	6,125,343	0	0	265,224,083	6,125,343
	m³	0	300	0	0	0	300	0

注) 主要品目のみ掲載。携帯品、郵便物及び他港からの荷受分は含まない。